

## R61c 銀河系の定数 $R_0$ 、 $\Theta_0$ の推定

須田 浩志 (東大理)、笹尾 哲夫 (国立天文台)

われわれの銀河系に関する基本的な定数である銀河中心までの距離  $R_0$ 、太陽系近傍の銀河回転速度  $\Theta_0$  を正確に決定することは、天文学にとって非常に重要なことである。また、これに関連して、太陽円より内側の天体で存在する運動学的距離の不定性を、固有運動の情報を利用して解消することを目指す。今回、この目的の手始めとして、まず太陽円より内側の天体 (IRAS19065+0529、参照天体 TX1910+052、離角 1.02 度) と外側の天体 (IRAS19213+1723、参照天体 J1924+ 1540、離角 1.82 度) 一つづつについて、VLBA を用いて数カ月おきに一回、計 6 回の相対 VLBI による水メーザー源のモニター観測を行ったので報告する。

観測はこれまでに 4 回行われ、そのうち 3 回の解析を終了している。この結果、太陽より銀河中心に近い天体はメーザーが受からなかったが、外側の天体についてはメーザーを検出、100 マイクロ秒角を切る精度で位置を決定することができた。ただし、そこから算出される運動は未だ矛盾を含んでおり、詳細な検討が必要である。